

会報 きらめき

煌

題字：眞下晴巳会員

第38号

発行 平成31年1月
 公益社団法人
 向日市シルバー人材センター
 〒617-0006
 京都府向日市上植野町南開 66-1
 TEL：075-932-3987
 FAX：075-934-8600
 URL：http://muko-sjc.com/
 e-mail：muko@sjc.ne.jp



平成30年11月23日 会員親睦研修旅行 淡路島・洲本温泉にて



上植野町 谷 英夫

監	監	理	理	理	理	理	専務理事	副理事長	理事長
事	事	事	事	事	事	事	柴	植	廣
安	平	安	水	平	中	上	崎	田	田
田		田	上	林	村	澤	重		光
正	託		信	勇	三	史			
夫	治	孝	之	夫	男	郎	信	進	雄

設立30周年を迎えます
 本年もどうぞよろしく
 お願い申し上げます



ごあいさつ

理事長 **廣田 光雄**



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、平成31年の新春をご家族ともどもお健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

当センターは、高齢者の皆様に臨時的、短期的就業機会を提供し、地域社会の活性化に貢献することを目的に、平成元年に発足し今年設立30周年を迎えました。

センター設立以来、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、会員の皆様と一緒に歩んでまいり、現在、会員数370名、契約金額1億7千万円と順調に発展してまいりました。

これもひとえに、会員の皆様をはじめ、歴代の役員のご尽力、関係行政機関のご支援、発注者である事業所、個人の皆様方のご愛顧、ご協力の賜物であると心から感謝申し上げます。

さて、我が国においては、少子高齢化が進み、人口が減少している中で、社会の活力を維持し、持続的な成長を実現していくためには、働く意欲のある高齢者が年齢にかかわらず

なく活躍し続けられる「生涯現役社会」を実現することがますます重要となっております。

このような中で、シルバー人材センターは地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の活躍の場を創出し、高齢者の健康や生きがいの充実、社会参加の促進など、地域社会の活性化に寄与しているところであります。

さて、現在、全国シルバー人材センター事業協会におきまして、平成36年度を目標に、会員100万人計画が策定され、全国の連合本部および各センターが目標達成に向け取り組んでいるところであります。

当センターにおきましても、ここ数年、会員数が低迷しておりますことから、会員の拡大に向けて、様々な機会を設け広報・啓発活動に取り組むとともに魅力あるセンターづくりを目指し、シルバー入会促進に努めているところでございます。

さらに、働く意欲のある高齢者の皆様に、就業しやすい就業条件・就業環境を提供できるよう、就業開拓員が中心となり「就業機会の拡大」にも力を注ぎ、地域の多様なニーズに応えられるよう積極的な事業運営を展開してまいりたいと考えております。

結びにあたり、当センターの事業運営に対しまして、皆様方の更なるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方にとりまして素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。ごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

向日市長 **安田 晋**



新年おめでとうございます。

公益社団法人向日市シルバー人材センターの皆さま方におかれましては、2019年の新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また本年は、貴センターが設立30周年の節目を迎えられますが、長年にわたり「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、高齢者の社会参加や生きがいの充実はもとより、活力のある地域づくりにもご尽力をいただいておりますことに深く敬意を表すとともに感謝申し上げます。

さて昨年は、市民の皆さまの利便性向上と中心市街地活性化のために、東向日別館を開設し市役所機能の一部を移したことに加え、女性活躍センター「あすもあ」の利用開始など、現在進めております「ふるさと向日市創生計画」に

基づき、施策を着実に実行した一年でありました。

更に、永守重信様から市民会館に替わる建物をご寄附いただけますことは、本市の発展に大きく寄与することであり、本当に嬉しい出来事でした。

そして本年は、1月21日(月)から中学校給食を実施いたしますとともに、老朽化し耐震性が不足している現市役所庁舎を建て替えるために具体的な計画を進めていくなど、新たな歩みを進めてまいります。

会員の皆さまにおかれましては、子どもたちの見守り活動や、地域住民自らが支え手となる「向日市地域支え合いヘルプサービス」の取り組みなどを通じて、本市の目指す「互いの顔が見え、地域で共に支え合えるまち」、「住み慣れた地域で高齢者がいきいきと安心して暮らせるまち」の実現に向け、引き続きお力添えをいただければ幸いです。

結びにあたりまして、貴センターのますますのご発展と、会員の皆さまにとって、この一年が幸多き年となりますよう祈念いたします。新年のご挨拶とさせていただきます。

シルバー人材センター普及啓発活動

シルバー事業の社会的意義、活動内容を広く市民の皆様や関係機関等に理解していただくとともに、高齢者のセンターへの加入の働きかけ及び就業拡大を目的に、毎年この時期にシルバー人材センター事業普及啓発促進月間として全国的に普及啓発活動を行っています。



向日市まつりの開場と同時にパンフレットを配布し啓発に努めました

当センターにおきましても、向日市まつり出展とボランティア清掃を行いました。
11月17日(土)・18日(日)に向日町競輪場で開催された向日市まつりでは、シルバー人材センターのブースにおいて、仕事の受注や入会受付のほか、就業風景のパネル展示などを行いました。



会場内に設けたブースでは、職員が入会説明を行いました



西向日駅周辺で2グループに分かれてゴミ拾いを行いました

また、まつり会場内では役員によるパンフレットの配布を行い、シルバー人材センター事業を広く市民の皆様へPRするとともに、未加入者の入会促進に努めました。
また、ボランティア清掃については、11月25日(日)に、会員・役員29名が参加し、センター周辺



事務所周辺の落ち葉掃除を行う会員の皆さん

および阪急西向日駅周辺のゴミ拾いや落ち葉掃きを実施し、美化に努めました。

ご参加いただきました会員のみなさま、ご協力ありがとうございました。



上植野町 谷 英夫

安全・適正就業委員会

安全・適正就業委員会では、昨年の夏期に実施しました安全パトロールにおいて、チェックポイントを業務別にまとめました。今後の安全就業の参考にさせていただきますようお願いいたします。

また、昨年は猛暑により、熱中症対策にも力を入れましたが、数名の方に熱中症の症状がみられました。熱中症は命にもかかわることですので、ご留意いただき、引き続き安全就業に努めていただきますようお願いいたします。

【分別収集指導業務】

(あらかわ医院南西及び森本郵便局前)

- ・ 前日出しのゴミが多く、迅速に作業をする必要があるが、慌てての作業は、怪我にもつながりかねないので注意が必要。防犯カメラの設置等により不法投棄の軽減が課題である。
- ・ 作業する際に、箱を重ねて腰に負担がかからないように作業されていたのは良いと思われる。

- ・ 効率よく作業されていたが、市民の方が持つてこられたときは、なるべく放り投げないようにされるとよい。

【交通指導業務】(第3向日陽小学校区)

- ・ 森本前田地下道前については、交通量が非常に多く、一時停止の箇所を車が一時停止しないで通過する車も多いため、横断中は旗を伸ばして安全を確保するのがよい。
- ・ 小学校前の道路についても、車の交通量が多いため注意が必要と思われる。

【ペットボトルリサイクル業務】

(乙訓環境衛生組合)

- ・ 中身のガスを抜いていないスプレー缶が入っていたこともあり、大事には至っていないが、注意が必要である。
- ・ 昇降台車によってペットボトルを積み上げる際、腰痛にならないような工夫をしてみるのもよい。

【除草業務】(鶏冠井町かしの木公園)

- ・ 草刈機の燃料が炎天下にさらされ



ペットボトル処理施設での安全就業を点検する委員



交通指導業務の現場でパトロールを行う委員

ていたので、日蔭などに置くような対応が望まれる。
・ 草刈機の刃の交換の際、ネジの回し方等で手間取っておられたので、草刈り機の講習会等で構造を学ぶなど練習する機会を作ることが望まれる。



植木の剪定など脚立を使用する作業は、特に注意が必要です

- ・ 暑さで曇ってしまうので、曇りにくい安全メガネの使用が望まれる。
- ・ 炎天下の作業のうえ、今年の夏は特別猛暑のため、普段以上の熱中症予防の対策が必須である。

【植木剪定業務】

(西森本墓地・鶏冠井町荒内・天文館)

- ・ 帽子又はヘルメットは着用していたが、植木の下で作業するときは、ヘルメット着用の方が望ましい。
- ・ 脚立において、固定部にゆるみがあったので、転倒防止のためにも、しっかりと固定することが大切である。
- ・ 真夏日での業務になるため、1人きりになる状況は極力避けることが望ましい。

**「安全・適正標語」
最優秀賞を受けて**



寺戸町
平林 勇夫

自然豊かな緑地、日頃より「健康安全」第一に働く、皆さまの向日市シルバー人材センターにお世話になりました。唯々ありがたうの気持ち、感謝の日々でありました。しかし、働く以上は日々危険と背中合わせ、私も安全委員の一メンバーでもあります。皆さま会員の日々の無事故、そして安全就業されますことを祈っております。

この度、平成30年7月、「安全・適正標語」募集において、京都府シルバー人材センター連合会より最優秀と認められ表彰を受けました。喜びの反面「なんで私のが」と耳を疑いました。私からとの思いで、今一度読んでみたいと思います。

安全標語
「作業前、心のベルト、締め直せ」

であります。特に朝の作業前、休憩後の心の引き締めに注意しましょう。そして、作業仲間同士での声かけも大事であると思います。これからも私達一人一人が「安全就業の日々」をモットーに、個々の健康に留意しながら、向日市シルバー人材センターの益々の発展に努めてまいります。



京都府の安全適正就業大会で、最優秀賞の表彰を受ける平林会員

**刈払機の
安全講習会**

刈払機の安全講習会を
受講して



上植野町
柴山 昭夫

11月8日(木)刈払機の安全講習会が、かしの木公園で開催されました。私自身は2度目の参加でした。今回も講師として指導頂いた先生方は、実際に農業機械士として実践され経験豊かな方々による指導だけに、私自身も実際に刈払機による作業を何度か従事し多少なりとは理解しているつもりでしたが受講してみてもまだまだ未熟だと思いい知らされました。



刈払機の使用前の点検ポイントに耳を傾ける参加者の皆さん

11月8日、鶏冠井町のかしの木公園にて、京都府農業機械士協議会から農業機械士2名をお招きし、刈払機の安全講習会を開催し、会員10名が受講しました。

この講習会は、全国の賠償保険事故で最も多いのが、除草、草刈業務であることから、安全就業対策の一環として、「刈払機の安全な使い方について」というテーマで事故の未然防止を目的に開催したものです。

今回の受講は①事故防止の姿勢②刈払機による作業③作業者自身の安全対策と③大テーマのもとに「刈払機による作業を安全にするか」安全を重視された講義内容でした。最近のデータによると刈払機による事故は、統計的に見ると負傷事故1500件以上、全体の3%（8件）の死亡事故が発生していると言われ、刈払機の事故を分析されると「正しい操作方法によらず作業を行っていることが主要因」だと説明があり、刈払機の取り扱いが最重要事項として認識しなければと反省する機会となりました。



刈払機の正しい使い方と草の刈り方など作業の基本を学びました

最後に作業後チェック、メンテナンスの内容説明があり、講師の方の実践、経験の事例を参考にされた、私にとっては大変有意義な実りある講習会でした。

今回の講習を受け感じた事は「基本作業の励行は安全作業の第1歩」と言われるように、基本（安全）が如何に大切なかを考え知らされたように思います。そして今後は知り得た知識、習得された技能を生かし安全作業に務めたいと思います。

最後に講習の機会を与えてくださった人材センター関係者の皆様、講義支援頂いた先生方、関係者に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

事故報告

平成30年8月から12月に発生した事故は以下のとおりです。

●就業後、徒歩にて帰宅中、自宅近くの横断歩道で転倒し左腕を骨折した。(79歳 女性)

●斜面で倒木処理中、電動のこぎりを持ったまま落下し、下にいた会員が受け止めたが、その際受け止めた会員が左上腕部に軽い切り傷を負った。(79歳 男性)

●波板の張り替え作業中、脚立から落下し肩と胸をうち、肋骨にひび。(78歳 男性)

京都府の安全パトロール実施

10月31日、京都府シルバー人材センター連合会の安全就業パトロールが当センターで実施されました。当日は、連合会の安全・適正就業委員8名が、上植野町の植木剪定の就業現場をパトロールした後、当センターの取り組みを発表するなど、各センターの安全対策について情報交換を行いました。



当センターの現場を視察する府シルバー連合会安全委員の皆さん

シルバー保険

シルバー人材センターでは、会員の皆様に安心して就業していただくため、就業中にけがなどを被った場合に補償を行う「傷害保険」と、就業中に他人の身体や財物に損害を与えた場合に補償を行う「賠償責任保険」に加入しています。

【傷害保険】

給付内容は「通院保険金」「入院保険金」「死亡保険金」があります。

【賠償責任保険】

(他人への身体への賠償) 5億円 (財物の賠償) 1事故5千万円

※適用範囲がありますので、詳しくは事務局にお問い合わせください。

家事援助サービス講習会



認知症の理解や家事援助の基礎知識を学びました

アップを図りました。

当センターでは、昨年から、高齢者等の居宅におきまして、掃除、洗濯、ゴミ出しなどの日常生活支援について、向日市と「地域支え合いヘルプサービス事業」の業務委託契約を結んでおり、当センターも福祉の担い手をして期待されています。



実際に車いすを使って、利用者および介助者の体験演習を行いました

受講者の感想

●「すべてをしない、できることはやってみよう」という自立支援の大切さや「各家庭の方法に合わせる」という難しさ、大変さを痛感した。

●今回の講習で、介護は他人事でない、多くのことを参考にしたいと思いました。

●講師の楽しい説明を聞いて、大変な家事援助も何かしら自分のできるのではと思いました。

●このような機会があれば、また参加したい。自分に何ができるか見つけたい。

●話が具体的でわかりやすく面白かった。

●家事援助以外にも同様なものがあれば基本知識を学びたい。

昨年8月22日から24日までの3日間、株式会社ニチイ学館より2名の講師を迎え、向日市民体育館で「家事援助サービス講習会」を開催しました。
この講習会は、高齢者活躍人材育成事業の二環といたしまして、京都府のシルバー人材センター連合会と共同で開催したもので、会員を含め15名が受講しました。
講習会1日目の「接遇マナー」は、社会生活をしていくうえで基本となるものであり、また午後の「認知症の理解」については、会員の方からも要望があった非常にタイムリーな内容でした。
2日目は、高齢者の心身状況の理解、車いすを使った介助の演習を行い、介護の基本を学んだほか、3日目の「お掃除サービス」ではお掃除のスキル

歳末おかたづけ応援隊

昨年11月中旬から年末にかけて向日市社会福祉協議会と協力して「歳末おかたづけ応援隊」事業を行いました。

この事業は生活支援が必要な70歳以上の高齢者世帯の生活の自立と安定を図るため、「おかたづけ」をサポートする事業で、家具移動や衣類の整理、家内の掃除などを行いました。

今回は69件の利用があり22名の会員が応援隊として従事しました。

利用者からは「寒中ありがとうございます」「普段できない所が片付いて助かりました」などの声をいただいております。



普段、なかなか掃除できない高所の掃除を行う応援隊

「歳末おかたづけ応援隊」に参加して

寺戸町 五十嵐 将三

会員の皆様、あけましておめでとうございます。



皆様におかれましてはすがすがしいお正月をお迎えされたこと、お慶び申し上げます。

昨年の11月、12月、2ヶ月にまたがり向日市社会福祉協議会様と向日市シルバー人材センターの共同により「歳末おかたづけ」を賜わり、2カ月間で7件担当させて頂きました。ご依頼いただきましたお宅は一人暮らしの方、又「足腰」が不自由な方が多く、訪問時これらのことを十分理解した上、おかたづけ作業を開始致しました。

作業終了時には、ご依頼様のご要望箇所のご説明を申し上げ、各ご家庭共々様に喜んでいただいたものと理解致しておりますが、それぞれの評価は自分でするものではなく、依頼人様がするものと承知致しております。

又、今までもシルバー人材センターを窓口になんが作業、お仕事を頂戴しお声掛けいただけるとは私にとって大変ありがたく感謝致しております。

私は基本的に何をすれば自分自身が日々幸せを感じられるかを考えた行動を取る様にしておりませんが、まだまだ人生半ばは思い通りには成長できていないのが実情です。「生勉強」というところです。

第一線を引いた我々高齢者は二週間の内フルタイムで仕事しなくても、ショートタイムで少しでも仕事をすることが自身の健康にも良く、又、仕事をする

最大の「社会貢献」と考えております。

今後とも皆様諸先輩を見習いながら、楽しく健康な日常を送れることを祈っております。



二人一組で、時間内に効率よく掃除を進めていきます

これからも色々なお仕事、作業の中でお世話になることと思いますがよろしくお付き合い賜わればと思っております。

会員の皆様のますますのご健康とご活躍をお祈りするとともに向日市シルバー人材センターのご発展を期待致しまして、今年もよい一年でありますようお祈り致します。

歳末おかたづけ応援隊

寺戸町 久保田 和美



社協とシルバー人材の共同事業「おかたづけ応援隊」の仕事をしました。2人1組で利用者さんのお宅へ伺い、普段できない掃除や片付けをします。

自己紹介、その後依頼内容を確認し相談しながら仕事を始めます。初めてのお宅も多く、各々お家のやり方があるので聞きながらの作業です。この仕事の長い方もおられ、時間配分や作業方法等、色々と教えらる事が多いです。又、体が不自由でも工夫して生活されている利用者さんにも感心します。作業が終わると皆さんとても喜んでくださり、私達も嬉しくなります。

現役中には経験できなかった仕事や世界を知れるのはシルバーの仕事だから。自分も家族も共に健康ならこそできる働くこと。元気なうちには働いて誰かの役に立ちたいし、色んなことを経験したいと欲張っています。

会員親睦研修旅行

センターと会員及び会員間のコミュニケーションを図り、相互の交流と親睦を深めるため、毎年この時期に会員親睦研修旅行を実施しています。

今年度は、11月23日(金・祝)、会員、役職員の計45名が参加し、淡路島・洲本温泉方面へ日帰りバス旅行を楽しみました。

鳴門公園にある「渦(うず)の道」では、海の上の遊歩道を歩きながら、迫力満点の渦潮を見学し、洲本温泉では昼食と入浴、カラオケ等で盛り上がりました。その後、たこせんべいの里を訪ね、買い物を楽しみむなど秋の一日を満喫しました。



昼食会場では鯛の姿造りの実演もあり、楽しい時間を過ごしました



渦の道のガラス床から、45m下の激しく渦巻く海面を覗き込む参加者



鶏冠井町 川崎 順子

恒例の年に二度の日帰りバスツアー。私はいつも心待ちにワクワクしております。

今年も今から楽しみにしています。発。今年も今から楽しみにしています。天気にも恵まれ、満席で競輪場より出

毎年参加しておりますが、今回の顔ぶれにびっくりしました。とてもめずらしい。私はなぜか強く感動した。人材センターで働くことの喜びと感謝の気持ちの表れと思えました。皆さんよい表情で笑顔があふれていた。新しい局長さんともうれしそう。私はよくバスツアーで旅行しており

ますが、めずらしくガイドさんが唱歌二曲歌われびっくりした。

鳴門の興奮の渦潮大自然の不思議に驚きます。淡路島は常に風が強く風速25kmになれば風力発電の羽根が止まるという。

旅行の一番の楽しみはやはり宿の宴会。料理、酒、カラオケ、温泉ですね。心からウキウキしますね。隣のおじさんすごく幸せそうに楽しそうにうまそうに酒を飲む、その姿を見て私も酒を飲む、おいしい。年齢の高い人達のこの和気藹々、そしてパワー。カラオケも楽しみ私も歌いました。とても満足です。土産に淡路のタマネギを買った。

帰路のバスの中、ビンゴゲームの盛り上がり。皆必死で手元のカードを見る、その姿もとてもおもしろい。まるで自分の年齢を忘れていた。

働くことに感謝して心身共に健康で不老長寿を願いたいと思います。

来年も今から楽しみにしています。よかった、よかった♡



寺戸町 飯田 幸弘

今年も親睦研修旅行に参加することができました。

私事ですが、今年の7月に足の手術を致しまして心身共に落ち込んでおりました。今年旅行を諦めておりましたが会員仲間からの励ましの言葉を頂

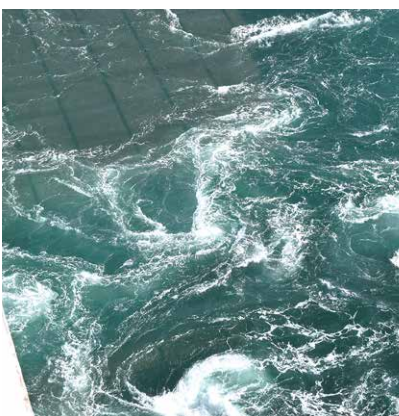
き、仕事にも復帰致しまして頑張っております。

旅行当日は晴天に恵まれ、淡路島に向かうバス中では皆様の笑顔と話に花が咲きました。バスガイドさんから観光地の説明を受ける度に、兵庫県出身である私は懐かしく拝聴致しました。眼下に見下ろす鳴門の渦潮は大変迫力があり感動しました。今でも脳裏に浮かびます。

ホテルでは美味しいご馳走に舌鼓を打ちました。カラオケなどで過したひとときも楽しかったです。皆さんお上手で拍手喝采でした。

帰路につくバスの中でもカラオケ三昧で歌う人、聴く人、和気あいあいであつという間向日市に戻ってまいりました。本当に充実した日でした。

最後になりましたが理事長様はじめ、職員の皆様には多大なるご尽力を賜わりまして感謝、御礼を申し上げます。



鳴門海峡の激しい潮流